

すみだSDGs体感ツアー 革産業 モニターツアー参加者募集

墨田区の代表的な産業のひとつである皮革産業を中心に、ものづくり産業のストーリーにふれることでサステナブルな企業のありかたを学ぶツアーです。

■日時 12月15日(水)

13:00~17:00

■料金 無料

■定員 6名(先着順)

■集合 京成線八広駅集合

■持ち物

革靴・革小物(革クリーム体験用)

※スウェードや、淡い色、濃い色の革製品はお控ください

■服装 動きやすい服装

■申し込み方法

お申込み期限
12月13日(月)
17:00

メールにてご応募ください。

メールアドレス:info@r-table.co.jp

タイトル:[墨田区モニターツアー]革ツアー申し込み

本文に、以下の情報を記載いただきご送付ください。

- ①ご所属の会社名/②役職名/③お名前(フルネーム)/
- ④当日ご連絡の取れるお電話番号/⑤ご参加予定人数

<行程>

13:00 京成線八広駅集合

↓ タクシー移動

13:10 山口産業株式会社 工場着

- ・食肉文化の副産物について
- ・すみだの皮の歴史について
- ・工場見学(やさしい革の話)
- ・ハッピーピッグプロジェクトの説明

14:20 ↓ タクシー移動

14:40 すみずみ着

ハッピーピッグプロジェクトメンバー企業
トークセッション

株式会社二宮五郎商店
株式会社谷口化学工業所

15:50 革クリーム使用体験

16:10 ご参加者様からの感想発表、
アンケートご回答等

17:00 解散

コロナウイルス感染症対策ご協力をお願い

- ・コロナウイルス感染症対策のため、モニターツアーにご参加いただく方には、ツアー2週間前(それ以降の場合は、お申込み確認時)より、「健康チェックシート」のご記入をお願いしております。詳細はお申込み後にご連絡いたします。
- ・その他ツアー参加に伴う注意事項は、受付完了後にメールにてご案内いたします。
- ・ツアー終了後、皆様には解散前にアンケートのお願いをしております。
Google formにてご提出をお願いしておりますので、携帯電話等ご回答いただける端末をお持ちください。
- ・COCOAアプリまたは地域で導入している感染確認アプリのインストールを推奨しております。

山口産業株式会社

1938年に墨田区に創業。
人にも自然にもやさしい、素肌のような革を創ることを目指し、製造する全ての革をラセッターなめしに切り替え、人と自然と環境にやさしい革づくりを実現している。
ハッピーピッグプロジェクトを発足。

株式会社二宮五郎商店

商品の使い道やお客様のご要望に応じ、規格品は一切使用せず、革の選定から行い、最高の素材を職人の卓越した技法と最新の設備でオーダーメイドで革製品を作っている。
ハッピーピッグプロジェクトにおいて、ラセッターなめしで加工された革を使った製品「スマートウォレット」をも手掛ける。

株式会社谷口化学工業所

明治43年創業、日本最古の靴クリームメーカー。クリーム of 充填には、100年以上続けている「3度注ぎ」により表面の光沢を表現し、製品のラベル貼り・検品作業もすべて手作業にて行う。ハッピーピッグプロジェクトにおいて、豚の油脂を使った革クリーム「Moist Leather Lotion」の製造も手掛ける。

ハッピーピッグプロジェクトとは

日本の食肉文化の副産物である豚皮の持続的な活用と、頂いた命の皮を大切に最後の1枚まで使い切るために、養豚・と畜・流通・加工・消費において出来ること、為さねばならないことを考え、やさしい革のある暮らしの実現を目指すプロジェクト。

お問い合わせ 株式会社RoundTable TEL 03-6260-9842 Mail info@r-table.co.jp

■主催 一般社団法人 墨田区観光協会 ■企画制作 株式会社iNTO ■ツアー運営 株式会社RoundTable

すみだものづくり体感ツアー 革産業

モニターツアー参加者募集

墨田区の代表的な産業のひとつである皮革産業を中心に、ものづくり産業のストーリーにふれることでサステナブルな企業のありかたを学ぶツアーです。

■日時 1月20日(木)

13:00~17:20

■料金 無料

■定員 6名(先着順)

■集合 京成線八広駅集合

■持ち物 筆記用具

革靴・革小物(革クリーム体験用)

※スウェードや、淡い色の革製品はお控えください

■服装

歩きやすい靴(スニーカー等)でお越しください。

■申し込み方法

メールにてご応募ください。

メールアドレス:info@in2jp.com

タイトル:

[墨田区モニターツアー] 革ツアー申し込み

本文に、以下の情報を記載いただきご送付ください。

①ご所属の会社名/②役職名/③お名前(フルネーム)/

④当日ご連絡の取れるお電話番号/⑤ご参加予定人数

お申込み期限
1月18日(火)
17:00

<行程>

13:00 京成線八広駅集合

↓ 徒歩移動

13:15 墨田革漉工業(株) 着

・すみだの革産業について
・革漉きについて
・工場見学

14:00 東墨田二丁目バス停

↓ 墨田区内循環バス 北東部ルート

14:22 押上駅 バス停

↓ 徒歩移動

14:45 HIS-FACTORY 着

・革小物づくり体験

↓ 徒歩移動

16:00 (株)谷口化学工業所 着

・工場見学
・革クリーム使用体験

↓ 徒歩移動

16:50 ご参加者様からの感想発表

17:20 解散

コロナウイルス感染症対策ご協力をお願い

- ・コロナウイルス感染症対策のため、モニターツアーにご参加いただく方には、ツアー2週間前(それ以降の場合は、お申込み確認時)より、「健康チェックシート」のご記入をお願いしております。詳細はお申込み後にご連絡いたします。
- ・その他ツアー参加に伴う注意事項は、受付完了後にメールにてご案内いたします。
- ・ツアー終了後、皆様には解散前にアンケートのお願いをしております。
Google formにてご提出をお願いしておりますので、携帯電話等ご回答いただける端末をお持ちください。
- ・COCOAアプリまたは地域で導入している感染確認アプリのインストールを推奨しております。

墨田革漉工業株式会社

大正の初期に革を漉く加工業からスタート。日本ファッション産業の中心東京とピッグスキンの生産地墨田区という立地を生かし、利用度を高めるために皮革の色々な表面加工に取り組んでいる。全国のメーカー、問屋、デザイナー、企画者からの相談も多く、その中から新しい創造性に満ちた新素材の開発が日々行われている。

HIS-FACTORY

イタリア製植物タンニン鞣し革を用いてハンドメイドで製作している、すみだの工房ショップ。長く使えるものを作るには企画、材料調達、監修、製作、全部目の届くところでやるしかないと思い2006年に立ち上げる。鞣作りに携わって約30年の経験を活かし、生産現場だから出来る長期使用にも耐えられるような製作を心がけている。

株式会社谷口化学工業所

明治43年創業、日本最古の靴クリームメーカー。クリームの充填には、100年以上続けている「3度注ぎ」により表面の光沢を表現し、製品のラベル貼り・検品作業もすべて手作業にて行う。ハッピーピッグプロジェクトにおいて、豚の油脂を使った革クリーム「Moist Leather Lotion」の製造も手掛ける。

お問い合わせ 株式会社イントゥ TEL 03-5544-8674 Mail info@in2jp.com 担当:杉浦

■主催 一般社団法人 墨田区観光協会 ■企画制作 株式会社iNTO ■ツアー運営 株式会社RoundTable

すみだものづくり体験ツアー 繊維・ガラス編

モニターツアー参加者募集

墨田区の代表的な産業である繊維とガラスのものづくり産業のストーリーにふれることでサステナブルな企業のありかたを学ぶツアーです。

■日時 12月24日(金)

13:00~17:00

■料金 無料

■定員 6名(先着順)

■集合 京成曳舟駅

■持ち物 筆記用具

歩きやすい靴(スニーカー等)でお越しください。

■申し込み方法

メールにてご応募ください。

メールアドレス:info@in2jp.com

タイトル:

[墨田区モニターツアー] 繊維・ガラスツアー申し込み

本文に、以下の情報を記載いただきご送付ください。

- ①ご所属の会社名/②役職名/③お名前(フルネーム)/
④当日ご連絡の取れるお電話番号/⑤ご参加予定人数

お申込み期限
12月22日(水)
17:00

<行程>

13:00 京成曳舟駅集合

↓ 徒歩移動

13:15 ホリゾン株式会社 工場着

- ・繊維業界の問題
- ・顔の見える一貫性
- ・持続可能な活動
- ・ワークショップ(フェルト石鯨づくり)

↓ 徒歩移動

14:45 硝子企画舎着

- ・硝子の歴史
- ・商品ができるまで
- ・プリズムプラス見学

↓ 徒歩移動

休憩

15:45 すみだまち処 スイーツを味わいながら
ご参加者様からの感想発表、
アンケートご回答等

16:40 スカイツリーエレベーター・展望デッキ見学

17:00 解散

コロナウイルス感染症対策ご協力のお願い

- ・コロナウイルス感染症対策のため、モニターツアーにご参加いただく方には、ツアー2週間前(それ以降の場合は、お申込み確認時)より、「健康チェックシート」のご記入をお願いしております。詳細はお申込み後にご連絡いたします。
- ・その他ツアー参加に伴う注意事項は、受付完了後にメールにてご案内いたします。
- ・ツアー終了後、皆様には解散前にアンケートのお願いをしております。
Google formにてご提出をお願いしておりますので、携帯電話等ご回答いただける端末をお持ちください。
- ・COCOAアプリまたは地域で導入している感染確認アプリのインストールを推奨しております。

ホリゾン株式会社

カシミヤヤギを育てる事からはじまり、紡績～製品へと一貫生産できる自社で牧場と工場を持つカシミヤカンパニー。

内モンゴル自治区の烏拉特中旗農・畜産業局のサポートの元、2019年に自社牧場を開牧。

約3000万㎡の牧地に約2000頭のカシミヤヤギを飼育。

牧民+企業+行政との連携で未来に向け限られた資源を有効に活用し持続可能にするための取組みをしている。

硝子企画舎

1884年硝子企画舎のルーツとなる「びんや」が初代 井上 為造によって創業(現在の滋賀県近江八幡市)。

2006年拠点を東京に移し「硝子企画舎」としての活動を開始。2018年工房を墨田区押上に移転。ギャラリー「プリズムプラス」を新工房内に併設。ガラス素材の可能性を追求し、様々な分野に幅広いアプローチを行うと共に、時代が求める様々な要求に応え、時代をつくりだす新しい提案をし続けている。

お問い合わせ 株式会社イントゥ TEL 03-5544-8674 Mail info@in2jp.com 担当:杉浦

■主催 一般社団法人 墨田区観光協会 ■企画制作 株式会社INTO ■ツアー運営 株式会社RoundTable

令和3年度 地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業 (オールすみだ×産業×観光) 区内の産業集積を活かした着地型産業観光ツアーの実施事業

事業実施の背景

墨田区は、製造業の占める割合が多く小規模や家内工業的な工場が主体であり、職住一体のまちとして、町工場で働く人たちが商店街や飲食店を利用することで、産業全体・地域全体が繁栄していた。近年の工場数減少により、町工場の衰退は産業全体、地域全体に及んでしまうことが想定される。中小企業のまち、産業のまち、ものづくりのまちとして発展してきた墨田区において、産業の活性化は不可欠であった。

事業実施の目的

区内の特徴的な中小企業やものづくりのまち墨田区の PR につながることを期待している。その中で、例えば、製造業に興味を持ってもらうことで、就職先の一つとして考えてもらえたり、工場見学を受入れることで、受け入れた側にもビジネスチャンスに繋がることなどが理想的な効果であると考えられる。産業側からも観光事業の有効性を感じてもらえれば、まさに観光と産業の融合に繋がると考えられる。

事業概要

区内の産業集積を活かし、着地型産業観光ツアーを2コース造成する。モニターツアーを実施し課題を洗い出すことにより改善を行う。モニターツアーを通してコースの造成から当日の運営までのノウハウをつかむ。来年度以降は、この経験を活かし事業化へ繋げていく。

参加者からの意見

- ・いくつかになっても工場見学は楽しいものであった。今後も継続頂けると良いと思った。
- ・その工場が持っている技術や他社ではマネできないこと、製造工程において難しいことや気を付けていることなども聞けると、職人さんの凄さなどが伝わった。
- ・全体を通して、ストーリー性・革に対して区がどのような流れで歴史を紡いできたのか、革に携わる事業者でも各工程ごとで色々な取組の仕方があること等、非常に勉強になるツアーだった。
- ・今後の展開として受入キャパの部分、コンテンツ造成後の募集や販売、今後自走していくための人材育成ガイド、これに限らないモノづくり×観光としての取組も含めて持続的な取組が必要だと感じた。素材としてはとても魅力的なものであり、プライベートであっても是非お伺いしてみたいなと思っている。
- ・ツアー開始前に墨田区の産業やブランド戦略などの説明（イントロダクション）をしてから回ったほうが、理解しやすいと感じた

受け入れ先からのヒアリング

ポジティブな意見

- ・普段は接することができない全く別の業界の方に弊社の取組を知っていただく良い機会となった。
- ・自分たちの取組をどのようにして伝えたら良いか客観的に考え、深く考える時間となった。
- ・あらたなビジネスチャンスを獲得することに今後繋げていける可能性を感じた。

ネガティブな意見

- ・誰を呼ぶか、誰がお客様になるのか、ツアー参加者が誰であるかが重要であると思う。本業をしているなかで自分たちの事業にプラスになる方を募っていただきたい。
- ・工場にお客様を呼ぶキャパシティーが充分か懸念される。また、お客様を呼ぶには普段と違う運営体制をしていかなければならず、継続して取り組んでいくことは厳しい。
- ・2 ~ 3社複数の会社が協同でモニターツアーを行ったがスケジュールを他社さんと合わせる事が難しい。1社1社で実施するツアーなら今後も続けていきたい。